

週間上市赤旗読者ニュース

2013年12月22日 NO 629号
日本共産党上市町委員会 090-3763-8445

<12月議会質疑>

障害をもつ子どもの支援について

障害があるため、普通学級を選べないお子さんは、遠方の支援学校に通うか、地元各校下の特別支援学級を選択するかの現状にあります。

支援学校は、黒部市と婦中町にありますが、通学には児童も家庭も大変な負担が強いられます。 地元の学校の特別支援学級を選ぶと、通学などの負担は軽減されるなど、利点がありますが、県立の支援学校と比較し、個々の子どもの特性に合わせた指導、学習体制が弱くなる状況もあります。

① こここの点の改善策として、上市町で週1回、専門、ベテランの指導者を中心とした共同学習の機会をもつことができないか。

② 支援学校の分校の誘致についてお伺いします。

=教育長答弁=

各学校毎の支援学級の共同学習」及び「支援学校分校の誘致」についてお答えいたします。

現在、町内小中学校における特別支援学級への受け入れについては、保護者の希望を最大限考慮し、入級していただいております。

各小中学校へは、個別の教育支援計画の作成など特別支援体制の資質向上に努めるよう指導しているところであります。 また、議員ご提案の町内小学校間での特別支援学級の共同学習も年3回実施しております。 おやつ作りや運動を他校の児童とともに協力して行うことは、児童の経験を深め、豊かな人間性を育てる上で大きな意義を持つものとして、その重要性を認識しております。 今後は、学校現揚の意見を取り入れながら、共同学習の更なる推進及び充実に向け検討していくものと考えております。

また、何らかの障害をお持ちの児童生徒の特別支援学校への就学は、保護者の希望のもと学校教育法に定める就学基準を満たし、県就学指導委員会の審議を経たうえで入学していただいております。 現在上市町には、特別支援学校はございません。 よって、富山市及びその他の地域の特別支援学校へ入学していただいているところであり、通学についての保護者の負担は十分理解しているところであります。 保護者負担を軽減するため、議員ご提案の特別支援学校の分校誘致も策の一つとして考えられますが、県立学校であることから、まずは、通学についての負担軽減について、保護者からスクールバスの町への巡回について、特別支援学校へ要望があった時は、県教育委員会へ働きかけるなど、保護者の支援を図っていきたいと考えております。

上市町の最近の入札工事 12月11日

単位千円

	落札価格	予定価格	落札業者
平成25年度災林道伊折千石線災害復旧工事	40,500	41,450	島田工業(株)
上市川橋梁橋面防水工事	9,480	9,580	島田工業(株)